

鹿児島県は離島の人口と面積が全国1位の県です。今回はトカラ列島の悪石島を紹介します。

## ユーモラスな姿の神が訪れる神秘の島

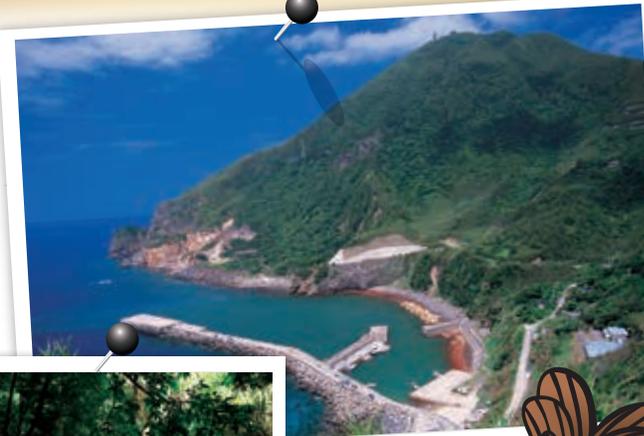
vol. 10

Akusekijima

# 悪石島

しま じま  
**島々**

★ **もよう** ★



▲やすら浜港

▶ 仮面神ボゼ

◀ 自然遊歩道

**手つかずのジャングルに神々が宿る**  
悪石島はトカラ列島のほぼ中央に位置しており、周囲は波に削られ、急峻な地形となっています。島の大部分は亜熱帯性の植物に覆われ、ガジュマル・アコウ・ビロウなどが自生。自然遊歩道が整備されていて、手つかずの自然を身近に感じることができます。大名竹(リュウキュウチク)も多く、竹を食材としたり、竹材として利用したりしています。また、国の天然記念物に指定されているアカヒゲをはじめ、珍しい生物も多



数生息しています。神秘的な雰囲気も悪石島の特徴です。あちこちに神社や祠があり、神々が祀られています。また、昭和19年(1944年)に、疎開船「対馬丸」がアメリカ軍の潜水艦によって撃沈されたのが、この悪石島沖であったことから、島の高台に慰霊碑が建立されています。

### 夏の夜、仮面神ボゼが現れる

旧暦の7月16日には、国内有数の奇祭として知られる「ボゼ祭り」が行われます。ツアーが組まれるなど、この祭りを目当てに多くの観光客が訪れます。ボゼとは島に伝わる仮面神で、かつてはトカラの他の島々に現れたとも言われていますが、現在は悪石島のみに残っている風習です。

悪石島では盆行事が盛大に行われ、ボゼはこれを締めくくる役目です。旧暦7月7日から男衆(島の青年・壮年)が稽古を兼ねて



踊り始め、14日から本祭に突入。祭り最終日(16日)の夕方、太鼓の音とともにボゼが現れます。ボゼは、大きな仮面をつけ、ビロウの葉を体にまとい、手にはボゼマラという棒を持っています。棒の先には赤シユイ(赤土)の泥が塗られていて、人々を追いかけまわして泥を塗りつけます。泥をつけられると悪霊が祓われ、運が良くなると言われています。

### 島は温泉天国、変わりダネの名湯も

火山島でもある悪石島は温泉も名物です。キャンプ場が併設された湯泊温泉公園には、海を眺めながら入れる露天風呂のほか、砂蒸し温泉(毛布を敷いて横になる)もあります。また、海中温泉というものも。これは、満潮時に、海中に湧く温泉と海水が混じりあっていい湯加減になるというものです。



- [位置] 北緯29度27分/東経129度39分
- [面積] 7.49km<sup>2</sup> [周囲] 12.64km
- [人口] 64人/32世帯(平成27年6月末現在)
- [地形] 御嶽(標高584メートル)を最高点とし、海岸線は切り立った断崖となっている。
- [主な産業] 畜産・農業・漁業
- [アクセス] 鹿児島港から村営の「フェリーとしま(1,391t)」が週2便運行。車両運搬可。所要時間は鹿児島港から約10時間・名瀬港から約5時間。

問い合わせ先: 十島村役場 ☎099(222)2101

(所在地は鹿児島市内)